

学生のみなさんへ

新型コロナウイルス感染防止対策本部
本部長・学長 河口 てる子

新型コロナウイルス感染防止対策について Ver. 2

4月16日全国に緊急事態宣言がなされ、北海道は特定警戒都道府県となりました。そのため、本学は4月20日より5月6日まで休校します。これは休暇ではありません。自宅に居ること、友人・知人・同僚に会わない、を強く要請します。帰省も旅行も不可です。どうしても市外への移動が必要な方は届けを出してください。5月7日より休校は解除(予定)になりますが、休校期間中、特定警戒都道府県および札幌圏に行かれた方は2週間の自宅待機を命じ、経過観察します。自宅待機の解除は、校医の許可を必要とします。

実習が予定されている3・4年生に関しては、介護施設・保育所、在宅実習の一部から実習拒否が出ましたので、スケジュールが変更になりました。実習開始は5月18日からになり、開始前2週間の健康観察と行動制限が課せられます。特定警戒地域に本人が行っただけでなく、行った人と接触した場合も、2週間の自宅待機となります。

医療従事者予備軍として、他者からの感染、他者への感染を限りなく0にするよう、全学生・教職員が一丸となって感染防止に努めてください。

基本対策

(1) 「自分はすでに感染しているかもしれない」という意識で行動してください

新型コロナウイルスは、感染しても「無症状」のままの場合があることが特徴です(特に若い方は)。無症状の感染者の感染力は発症者とほぼ等しいというデータがありますので、「もしかしたらすでに自分は感染しているかもしれない」という意識を持ち、その上で「人にうつさない」ための行動を取ってください。

(2) 体調管理の徹底

起床後、就寝前、毎日体温測定をしていただきます。実習中は、3回になります。

発熱・風邪症状がある場合は、登校せず、学校医・学務課に連絡してください。

(3) 手洗い、マスク着用の徹底

小まめな手洗いは感染予防の基本です。また、必ずマスクを着用してください。

(4) 「2mルール」を守りましょう

「飛沫感染」を防ぐため、人と会話するときは2m離れるようにしてください。

昼食は、人と間隔をあけて会話せずにお摂りください。

列に並ぶ時は、人と十分な距離をとってください。

(5) 接触感染が危険です

「接触感染」を防ぐため、ドアノブ、水道のレバー、電気のスイッチ、エレベーターのボタン、机・いす、情報処理室のキーボード等、大学でも毎日消毒しますが、学生も消毒をしましょう。握手等、人との直接的な接触は控えてください。

(6) 情報処理室・学びの広場のパソコンを利用するとき

人数を制限するために、キーボードを半数にしています。キーボードは、消毒したものを朝用意していますが、使用した方は使用後に消毒して戻してください。

(7) 学内外、平日・休日、昼夜間、規模の大小を問わず、密閉・密集・密接を避けてください。 (例えば、ライブハウス、カラオケ、居酒屋、新入生歓迎イベント、立食パーティー、映画館、自宅での飲み会など)

